

令和 5年度予算見積調書

課室名: こども安全課
 担当名: 児童虐待対策担当
 内線: 3335

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S232	ICTを活用した児童相談所の業務効率化事業			一般会計	民生費	児童福祉費	児童福祉総務費	児童虐待防止対策費		
事業期間	令和 4年度～	根拠法令	児童福祉法第11条、12条 児童虐待防止等に関する法律第4条 等 (義務)			針路	04 子育てに希望が持てる社会の実現	SDGsゴール	16	
					分野施策	0403 児童虐待防止・社会的養育の充実	SDGsターゲット	16-1, 16-3, 16-4,		
1 事業概要	音声認識による記録の作成や類似事例の検索機能の追加により定型業務の自動化を行い業務の効率化を行うとともに、ベテラン職員のノウハウに基づくヒアリング補助機能により若手職員の能力の底上げを図る。			5 事業説明						
	ICTを活用した児童相談所の業務効率化事業 11,640千円			(1) 事業内容 ICTを活用した児童相談所の業務効率化事業 音声認識による記録の作成や類似事例の検索機能の追加により定型業務の自動化を行い業務の効率化を行うとともに、ベテラン職員のノウハウに基づくヒアリング補助機能により若手職員の能力の底上げを図る。						
2 事業主体及び負担区分	児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金 (国1/2・県1/2) 音声認識システムに係る事業のみ (県10/10) 上記以外の事業			(2) 事業計画 (令和4年度) ア 音声認識による記録の自動作成とデータ分析によるヒアリング補助システムの導入 イ 児童虐待の類似事例の検索機能の追加 (児童相談所業務支援システムの改修) (令和5年度) ア 構築システムの運用保守業務						
3 地方財政措置の状況	なし			(3) 事業効果 児童福祉司が相談業務などの主業務に注力できる環境を整えることにより、複雑化する児童虐待事案等に対して迅速できめ細かい対応が可能になる。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.2人=1,900万円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比	
		国庫支出金								
決定額	11,640							11,640	△10,332	
前年額	21,972	21,972						0		

事業内訳書

事業名	ICTを活用した児童相談所の業務効率化事業		
単位事業名	ICTを活用した児童相談所の業務効率化事業	予算額	11,640千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	57	57	音声認識システム消耗品費
委託料	11,583	1,628	音声認識システム保守費用 10,659千円 類似事例検索システム保守費用 924千円
合計	11,640	1,685	